

分野をつなぎ移動に関する諸問題に取り組む  
特定非営利活動法人 ゆうらん  
[第9期]  
事業報告書  
[2014.10.1～2015.9.30]



You can feel the Outlook of an Universe.  
Run with Us Now !



## 2014 年度事業・活動報告

はじめに

各事業に関しては、残念ながら直接受託できた案件がなかったものの、企業等からのご依頼を少しずついただくようになり、事業収入にも若干反映されるようになりました。

また、「なまら便利なバスマップ」は全国初の試みとしてクラウドファンディング、ならびに協賛広告と助成金を組み合わせることにより倍増して発行することができました。

しかしながら、団体運営を取り巻く環境は非常に厳しく、予断を許さない状況です。

### (1) 誰もが暮らしやすいまちづくりを推進する事業

#### ①「石巻バス停検索」補助（約 10 万円）

Web で最寄のバス停が検索できるサイト「バス停検索」において、石巻市内のバス停を詳細化するための作業をお手伝いしました。この作業は、同市で活動している移動支援団体による移動支援が飽和状態なことから、元気な人は公共交通を利用してほしいということに起因しています。

### (2) 円滑な移動を支援する事業

#### ①「なまら便利なバスマップ」（第 9 版）発行

(2015 年 6 月中旬発行、2 万部)

(ア) 収入（約 93 万 2 千円）

◇協賛広告（広告枠 35 万 4 千円）

◇クラウドファンディング（37 万 8 千円）

◇さぽーとほっと基金（20 万円）



第9版表紙

(イ) 配布状況：

◇主な配布先

名称	部数
協賛広告主様（合計）	2,160
大通駅定期券発売所	1,500
（一財）札幌市交通事業振興公社 営業部窓口サービス課(地下鉄全駅)	4,500
北海道中央バス	1,500
ジェイ・アール北海道バス関連	1,750
北海道さっぽろ観光案内所	1,000

(ウ) 問い合わせ件数

◇直接 26 件（電話・メール） [前年比：118%]

◇各配布先において、問い合わせがあるようです。（件数不明）

### (3) 環境負荷低減を推進する事業

①さっぽろ環境観光事業（環境省：地域における草の根活動支援事業）（約 25 万円）

さっぽろサイクルらぼ（（一社）シーニックバイウェイ支援センター、NPO 法人エコ・モビリティ サッポロ、NPO 法人ポロクル、NPO 法人ゆうらん）に主体として参画し、自転車を用いた観光に関するガイド養成講座、モデルコースの策定・マップ作成を行っています。

②その他

事業番号 2、4 におけるそれぞれの事業、及び、公職（北海道環境審議会温暖化対策部会）が、環境負荷低減につながる内容を内包しています。

### (4) 情報収集発信及び調査研究事業

web 上で、「福祉と交通」、「環境と交通」はじめ、移動にかかわる情報発信を行っています。

①情報収集発信

(ア) ホームページ（9 月 30 日現在）

◇総アクセス数：総訪問者数 102,140 人

(年間 44,635 人)

◇1 日平均：約 122 人 [前年比：約 137%]

◇訪問者数が最も多かった日：2015 年 8 月 17 日 (289 人)



トップページ

◇最も訪問者が多かった記事上位 3 件（過去 7 日間）

(単位：人)

ページ内容	件数
共通 1DAY カード [札幌市交通局、札幌市内バス 3 社]	245
さっぽろうお〜く 1 日乗車券 [北海道中央バス]	177
1 日乗りほーだいきっぷ [ジェイ・アール北海道バス]	171

◇記事別の訪問者数

(単位：人)

ページ内容	人数
市電・函館バス共通 1 日、2 日乗車券 [函館市交通局、函館バス]	12,817
共通 1DAY カード [札幌市交通局、札幌市内バス 3 社]	10,949
「ドニチカキップ」 [札幌市交通局 (市営地下鉄)]	5,371

◇アフィリエイト等

・ Google AdSense—見積もり収益額 18,584 円 (9 月 30 日現在)

・ アフィリエイト (A8net) (年間) 2,856 円 (9 月 30 日現在)

(イ) ソーシャル・メディア (SNS) の活用

フェイスブックは、平日 1 日 1 件の投稿を心掛け、会員以外の方々との交流や情報交換を図

ってきました。

なお、フェイスブックの最新投稿は、ホームページのトップに反映されています。

・獲得「いいね！」－245件（9月30日現在）

## ②調査研究事業

当団体が、協力企業として参画させていただいている企業の各業務を通じて、以下の調査研究等に関わりました。

- ・全国各地における路線バスの補助維持制度
- ・自治体運営によるバス（コミュニティバス）の路線再編案の作成

など

- (5) 障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業 ※
- (6) 障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業 ※
- (7) 障害者自立支援法に基づく指定相談支援事業 ※
- (8) 介護保険法に基づく指定居宅サービス事業 ※
- (9) 介護保険法に基づく指定介護予防サービス事業 ※
- (10) 道路運送法に基づく福祉有償運送事業 ※
- (11) 路運送法に基づく旅客自動車運送事業 ※
- (12) 公的施設の管理運営事業 ※

※の各事業は本年度実施に至りませんでした。

## (13) その他

### ①企業・団体との連携

道内・外の約7社の企業・団体と連携を図っています。

### ②公職への出席

◇札幌圏モビリティ・マネジメント会議

平成26年度 第1回（10月）、第2回（2月）

◇北海道環境審議会地球温暖化対策部会

平成27年度 第1回（8月）

◇北海道省エネルギー・新エネルギー推進会議 新エネルギー導入促進部会

平成27年3月

### ③その他

◇地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会第2回情報共有会合における事例紹介（7月）

◇メールマガジンへの寄稿（ESTメールマガジン第109号（8月））

## 2. 2014 年度収支決算報告、監査

## 活動計算書

2014 年 10 月 1 日～2015 年 9 月 30 日

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
正会員受取会費	30,000	30,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	381,099	381,099
3. 事業収益		
自主事業収益	3,343,800	
受託事業収益	0	3,343,800
4. その他収益		
受取利息	231	
雑収益	39,809	40,040
<b>経常収益計</b>		<b>3,794,939</b>
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	1,800,000	
法定福利費	283,812	
<b>人件費計</b>	<b>2,083,812</b>	
(2) その他経費		
業務委託費	32,400	
旅費交通費	239,823	
福利厚生費	4,800	
会議費	4,000	
通信費	89,981	
事務用品費	16,833	
印刷製本費	436,320	
諸謝金	12,000	
租税公課	1,400	
支払手数料	620	
雑費	53,991	
<b>その他経費計</b>	<b>892,168</b>	
<b>事業費計</b>		<b>2,975,980</b>
2. 管理費		
(1) 人件費		
<b>人件費計</b>	<b>0</b>	
(2) その他経費		
会議費	1,260	
通信費	284	
消耗品費	1,859	
地代家賃	270,500	
業務委託費	10,800	
保険料	7,570	
租税公課	600	
雑費	100	
<b>その他経費計</b>	<b>292,973</b>	
<b>管理費計</b>		<b>292,973</b>
<b>経常費用計</b>		<b>3,268,953</b>
<b>当期正味財産増減額</b>		<b>525,986</b>
<b>前期繰越正味財産額</b>		<b>1,661,200</b>
<b>次期繰越正味財産額</b>		<b>2,187,186</b>

その他の事業会計該当なし

貸借対照表

2015年9月30日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	24,951		
普通預金	1,177,535		
郵便振替口座	16,800		
未収金	900,000		
前払費用	25,700		
<b>流動資産合計</b>		<b>2,144,986</b>	
<b>2. 固定資産</b>			
(1)無形固定資産			
敷金	21,000		
退職金共済積立金	32,400		
<b>無形固定資産計</b>	<b>53,400</b>		
<b>固定資産合計</b>		<b>53,400</b>	
<b>資産合計</b>			<b>2,198,386</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
前受金	3,000		
預り金	8,200		
<b>流動負債合計</b>		<b>11,200</b>	
<b>2. 固定負債</b>			
<b>固定負債合計</b>		<b>0</b>	
<b>負債合計</b>			<b>11,200</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		1,661,200	
当期正味財産増減額		525,986	
<b>正味財産合計</b>			<b>2,187,186</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>			<b>2,198,386</b>

その他の事業会計該当なし

## 財産目録

2015 年 9 月 30 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金			
手許現金	24,951		
北海道労働金庫	27,797		
北洋銀行	1,149,738		
ゆうちょ銀行振替口座	16,800		
未収金			
(株)日本データサービス	450,000		
(一社)北海道開発技術センター	450,000		
前払費用	25,700		
<b>流動資産合計</b>		<b>2,144,986</b>	
<b>2. 固定資産</b>			
(1)無形固定資産			
敷金	21,000		
退職金共済積立金	32,400		
<b>固定資産合計</b>		<b>53,400</b>	
<b>資産合計</b>			<b>2,198,386</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
前受金	3,000		
預り金	8,200		
<b>流動負債合計</b>		<b>11,200</b>	
<b>2. 固定負債</b>			
<b>固定負債合計</b>		<b>0</b>	
<b>負債合計</b>			<b>11,200</b>
<b>正味財産</b>			<b>2,187,186</b>

会計監査報告

監査を実施した結果、財務諸表は適正に処理されていることを認めます。

2015年11月2日 監事 瀧谷 和 隆



## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準（2010 年 7 月 20 日、2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

（1）消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

### 2. 事業費の内訳 事業費の区分以下の通りです。

(単位:円)

科目	自主事業	受託事業	合計
(1) 人件費			
給料手当	1,800,000		1,800,000
法定福利費	283,812		283,812
人件費計	2,083,812		2,083,812
(2) その他経費			
業務委託費	32,400		32,400
旅費交通費	239,823		239,823
福利厚生費	4,800		4,800
会議費	4,000		4,000
通信費	89,981		89,981
事務用品費	16,833		16,833
印刷製本費	436,320		436,320
諸謝金	12,000		12,000
租税公課	1,400		1,400
支払手数料	620		620
雑費	53,991		53,991
その他の経費計	892,168	0	892,168
合計	2,975,980	0	2,975,980

### 3. 2015 年度事業・活動計画

はじめに

社会情勢の急激な変化により、先が読みづらい時代が続き、とりわけ、北海道経済については、基幹産業である一次産業を中心に不安な要素が多くなっています。その中で、北海道新幹線（新青森～新函館北斗間）開業と在来線の減便等の検討という光と影が交錯しようとしています。

見えない大きな力が働いているともいえますが、私たちがそれぞれできることを通じて、よりよい北海道のために貢献していきたいと考えています。

#### (1) 誰もが暮らしやすいまちづくりを推進する事業

- ・他分野の団体・企業と連携し、分野横断（複合）的な取組みモデルの検討を行います。

#### (2) 円滑な移動を支援する事業

- ・いわゆるコミュニティバスをはじめとする地域の足から、北海道新幹線開業による二次交通に至るまで、良質な提案を行っていきます。

#### (3) 環境負荷低減を推進する事業

- ・「さっぽろサイクルラボ」（事務局（一社）シーニックバイウェイ支援センター）に参画することにより、札幌のエコ観光に寄与していきます。
- ・モビリティ・マネジメントに関する取組や公職等による発言を通じて、移動に関する環境負荷低減を提唱していきます。

#### (4) 情報収集発信及び調査研究事業

- ・引き続き、ホームページ、フェイスブック等による情報発信を行います。特に、ホームページでは、一定の収益が得られるよう更なるアクセス数やページプレビュー数の向上を目指します。
- ・各種業務を通じて、調査研究を行います。
- ・必要に応じて、上記1)～3)に関する調査研究を行います。

#### (5) 障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業 ※

#### (6) 障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業 ※

#### (7) 障害者自立支援法に基づく指定相談支援事業 ※

#### (8) 介護保険法に基づく指定居宅サービス事業 ※

#### (9) 介護保険法に基づく指定介護予防サービス事業 ※

#### (10) 道路運送法に基づく福祉有償運送事業 ※

#### (11) 道路運送法に基づく旅客自動車運送事業 ※

#### (12) 公的施設の管理運営事業 ※

※の各事業は未定です。

#### (13) その他

## ■主な活動実績

- 2004年 6月 任意団体としてスタート
- 2006年 3月 「なまら便利なバスマップ」初版1万部発行（札幌市委託事業（元気プロポーザル事業））
- 2006年 11月 第4回パートナーシップ賞受賞、NPO法人認証
- 2007年 6月 「なまら便利なバスマップ」第2版1万部発行（札幌市委託事業）
- 2007年 7月 えき・バスナビ&バスマップ使い方講座開催
- 2007年 11月 「札幌公共交通おでかけ講座」開催（道立市民活動センター協働講座）
- 2008年 6月 「なまら便利なバスマップ」第3版1万部発行（（公財）秋山記念生命科学振興財団助成、（一社）北海道開発技術センター協力）
- 2009年 8月 「なまら便利なバスマップ」第4版1万5千部発行（発行主体：（公財）北海道環境財団）
- 2009年 9月 「北海道EST創発セミナーin札幌」（主催：北海道運輸局交通環境部環境課、交通エコロジー・モビリティ財団）に講師派遣
- 2009年 12月 「なまら便利なバスマップ」第5版2万部発行（発行主体：（公財）北海道環境財団）
- 2010年 2月 第5回人づくり・地域づくりフォーラム（主催：（公財）山口県ひとづくり財団）に講師派遣
- 2010年 8月 「バスマップの底力」（全国バスマップサミット実行委員会 編著）発行
- 2010年 11月 講座「これからの札幌圏の公共交通機関について考えよう！」開催（道立市民活動センター協働講座）
- 2011年 1月 「なまら便利なバスマップ」第6版1万部発行
- 2011年 6月 「NPOの特性を活かした地域課題解決型事業」（札幌市緊急雇用創出推進事業）、第8回北大ディベート大会「札幌市の交通デザイン」（主催：北海道大学大学院経済学研究科・経済学部）の話題提供として講師派遣
- 2011年 8月 在札被災者支援として、「さっぽろの歩き方」発行
- 2012年 1月 「なまら便利なバスマップ」第7版1万部発行
- 2012年 2月 公共交通で札幌のイトコ発見しよう！（4種類）各2,000部発行
- 2012年 3月 交通まちづくりシンポジウム開催（参加者約100名）
- 2013年 2月 交通まちづくりフォーラム開催（実行委員会の幹事団体として参画）（参加者約200名）、  
「北海道交通事業者HPユーザビリティ調査」（北海道運輸局委託事業）
- 2013年 6月 ホームページリニューアル
- 2014年 1月 「なまら便利なバスマップ」第8版1万部発行（初の協賛金による発行）
- 2015年 6月 「なまら便利なバスマップ」第9版2万部発行（全国初クラウドファンディングによる発行）